

～凄まじい迫力で展開する周五郎の世界～

人情歌物語

松とお秋



作曲:大中 恩
原作:山本 周五郎
脚色・演出・歌と口演(全九役):岡村 喬生
曲師:クラリネット 岡田 渉 ピアノ 半田 規子
絵師(舞台後方紗幕上の画集):浦部 和巳

2012年

6月16日(土) 13:30開演 [13:00開場]

浅草公会堂

地下鉄銀座線 浅草駅徒歩5分 / 都営浅草線 浅草駅徒歩7分

「松」13:30～ — 休憩25分 — 「お秋」14:50～

指定席 ¥2,500 自由席 ¥2,000

主催:NPOみんなのオペラ 03-3994-3552 後援:公益財団法人・台東区芸術文化財団

コンサートマネージメント:ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

スタッフ:(株)スペース・ゼロ [美術]東原 繁 [照明]西山 秀樹 [音響]加藤 寿恭 [舞台監督]坪根 孝

衣裳協力:(株)伽羅 千地泰弘

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638 / チケットぴあ 0570-02-9999 / CNプレイガイド0570-08-9990 / 東京文化会館チケットサービス03-5685-0650
ヤマハ池袋店 03-3988-2915 / ローソンチケット0570-00-0407

一人の太夫が一棹の三味線と歌い嘯す浪曲をヒントに、周五郎の原作を岡村が脚色、さっちゃん、犬のお巡りさんの大中恩がアリアやモノログを書きいれ、一人芝居、江戸の歌嘯し、新モノオペラが出来た。

人情歌物語

「松とお秋」

～江戸社会の底辺を生きる男女の悲哀～

一松

原作：「嘘アつかねえ」山本周五郎（「日日平安」新潮文庫）
脚色：岡村喬生

浅草寺の繁華街の近くの寂れた空き地に、夜になるとやなぎ屋という安屋台が出る。小銭が貯るとやってくるのが人足の松。「このあま起きる、起きてかまの下を焚きつけろ！と、かかあを怒鳴りつけるのが俺の式だ」。若女房に浮気をされ逃げられ、尾羽うち枯らしたこの屋台の常連客・信吉と、無口な屋台の主の爺さんに、安酒を呷り、そう気炎をあげるのが彼の常だった。——ある寒い冬の夜。べろべろに酔った松に肩を貸し、貧しい長屋に送っていった信吉が見てしまったのは、松の意外な姿だった！

一お秋

原作：「ほたる放生」山本周五郎（「日日平安」新潮文庫）
脚色：岡村喬生

男前で女術の村次に、江戸中の岡場所をたらい回しにされ、須崎（今の東陽町）の果てまで流された安女郎のお秋は、しかし女扱いのめっぽう上手い村次の言いなり。女房になってくれと通い詰める、船頭の藤吉には見向きもしない。——真夏のある夜。村次が若い田舎娘を廊に連れてくる。その夜半過ぎ、一人寝のお秋の耳に聞こえてきたのは男女の睦み声。廊の女主人・おつねに、村次とその娘ができてから、もうあんたはお払い箱よ、と知らされたお秋は逆上。村次をほたる沼に誘い、袂に入れた剃刀で殺そうとするが、そこで初めて知ったのが、男の真心だった。

岡村喬生（おかむら・たかお）

[バス・バリトン歌手、オペラ演出家、脚色、演出、口演一全九役]

開成高校、早大第一政経新聞科、ローマ・サンタチェチリア音楽院声楽科、卒。ウィーン音楽アカデミー・リードオラトリオ科、終了。トゥルース国際音楽コンクール優勝。オーストリア・リンツ3年、ドイツ・キール2年、ケルン8年、計13年間、専属第一バス歌手として契約。ミュンヘン国立歌劇場で「ボリス・ゴドノフ」タイトルロール客演の他、世界各地でオペラ、コンサートに客演。日本のバス第一人者としての歌手活動の他、オペラ演出、俳優、執筆、講演に活躍。

2011年にはイタリア、第57回ブッチェニフェスティバルでNPOみんなのオペラを率い「マダム・バタフライ」を演出し絶賛を博し、ブッチェニ賞を受賞。来る2012年、第58回ブッチェニフェスティバルで、「マダム・バタフライ」を再演する。NPOみんなのオペラ芸術総監督、国際交流貢献で文部大臣表彰。早大芸術功労者。

クラリネット 岡田 渉

日大芸術学部音楽科卒。在学中、同大学オーケストラとコンツェルト共演。ヤマハ新人演奏会、読売新人演奏会に出演。2006年、第三回日本クラリネットアンサンブルコンクール第三位。（中村紋子とのデュオ）クラリネットを吉成隆一、山本正治、磯部周平、室内楽を中川良平、指揮法を桐田正章の各氏に師事。

ピアノ 半田 規子

桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学ピアノ科卒。卒業演奏会に出演。同年、同大学音楽科伴奏研究員となり、1989年修了。ピアノを片山敬子、伴奏法を星野明子の各氏に師事。2004年、2006年に2台のピアノによる演奏会を開催。

飲みねー、飲みねー！すし喰いねー！

NPOみんなのオペラ・芸術総監督 岡村喬生（おかむら・たかお）

「江戸っ子だってな、神田の生まれよ」——広沢虎造の口演はご存知、森の石松三十石船道中。「次郎長の子分が一番強いのは誰だい？」石松は侠客に詳しい同乗の客に聞く。「一番は山本流の槍の使い手、体が大きいから、清水のたまさ」「あいつは槍を使いやがるからなー、次は」「居合い術を使い、体が小さいから、小まさ——」「三番は？」「おおぜの半五郎——いつまでたっても石松の名前は出てこない。「一番強いのをよー、何とか思い出せねーかよ、えー！」「——いけねー、これを忘れちゃおてんとう様に顔をあわせられねー、遠州森の福田屋という宿の倅で、森の石松っあんだー」「飲みねー飲みねー、江戸っ子だってな、神田の生まれよ、そうかい、さ、すし喰いねー！」——ガキの僕はラジオに騒りついて、この名調子に聴き入っていたものだ！何度聴いても面白い——まさに、このモノオペラは、あの虎造の浪曲から産まれた！

同じ場所で、衣裳も照明も変えずに幾人もの人物を即座に演じ分ける、日本独特の話芸。モノオペラは他にもあれど、この話芸は世界のどこでも見たことがない。

演者一人。曲師はピアノとクラリネットだけ。「松」と「お秋」が一緒に仕込まれた一杯だけの装置。舞台後方紗幕上の替わり絵。照明と音響。舞台無しで演じられる簡便さ。これより安いオペラはどこにも無いのだ！

◆NPOみんなのオペラ役員

役職名	氏名	備考	【】内は当NPOに對ける役割
理事長	吉田 栄夫	(財)日本極地研究振興会理事長、理学博士、元立正大学学長、元南極越冬隊長	
副理事長	岡村 喬生	【芸術総監督】バス・バリトン歌手、オペラ演出家、俳優、執筆家	
理事 (50首領)	藤尾 悦也	日本社会事業大学理事長、元元労済理事長、元連合会長	
	入谷 泰生	日本クルーズ客船(株)取締役社長	
	宇野 義弘	合唱指揮者	
	江波戸 昭	明治大学名誉教授、理学博士、民族音楽学者	
	江守 徹	俳優	
	小尾 旭	(株)ミリオンコンサート協会代表取締役	
	金子 一也	(財)松下政経塾政経研究所所長	
	金子 タケコ	(財)カネコアルトップ取締役	
	木頃 泉	(財)ケフィア事業振興会	
	佐々木 伸太郎	元タンザニア大使・ヨルダン大使	
白井 正信	元東京新聞論説委員		
土井 秀文	会社員		
監事	松尾 清	公認会計士、監査法人トーマツ代表社員	
	荳澤 政男	公認会計士、税理士	
特別顧問 (50首領)	愛知 和男	衆議院議員、元防衛庁・環境庁長官	
	寺澤 芳男	初代NPO理事長、元経済企画庁長官	
	中江 要介	ハレエ台本作家、元ユーゴスラビア大使・エジプト大使兼南イエメン大使・中国大使	

NPOみんなのオペラ事務局 03-3994-3552

ホームページ <http://www.minna-no-opera.com>

2012年公開予定で現在製作中! 劇場用長編ドキュメンタリー映画

「<蝶々夫人>と岡村喬生のオペラ人生」

<http://pandoraez.exblog.jp/i2>